

**【表紙】**

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年4月3日
【会社名】	タカラバイオ株式会社
【英訳名】	TAKARA BIO INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 仲尾 功一
【本店の所在の場所】	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
【電話番号】	(077) 565局6978番
【事務連絡者氏名】	執行役員 渡部 正治
【最寄りの連絡場所】	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
【電話番号】	(077) 565局6978番
【事務連絡者氏名】	執行役員 渡部 正治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

平成29年3月2日に提出いたしました臨時報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 2 【報告内容】

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

## 3 【訂正内容】

訂正箇所は、下線\_\_\_\_を付して表示しております。

(訂正前)

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

④ 資本金 : 123,760千米ドル (平成28年12月31日現在)

(訂正後)

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

④ 資本金 : 123,716千米ドル (平成28年12月31日現在)

## 【表紙】

【提出書類】	臨時報告書（平成29年4月3日付け訂正報告書の添付インラインXBRL）
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年3月2日
【会社名】	タカラバイオ株式会社
【英訳名】	TAKARA BIO INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 仲尾 功一
【本店の所在の場所】	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
【電話番号】	（077）565局6978番
【事務連絡者氏名】	執行役員財務部長 渡部 正治
【最寄りの連絡場所】	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
【電話番号】	（077）565局6978番
【事務連絡者氏名】	執行役員財務部長 渡部 正治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【提出理由】

当社において、特定子会社の異動がありましたので、金融商品取引法第24条の5第4項ならびに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

- ① 名称 : WaferGen Bio-systems, Inc.
- ② 住所 : 34700 Campus Drive Fremont, CA 94555 United States
- ③ 代表者の氏名 : Dr. Rolland Carlson, CEO, President and Director
- ④ 資本金 : 123,716千円ドル (平成28年12月31日現在)
- ⑤ 事業の内容 : 研究用試薬・装置の製造・販売

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

- ① 当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数  
異動前 : 一個 (うち間接所有分 一個)  
異動後 : 3,798,112個 (うち間接所有分 3,798,112個)
- ② 当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合  
異動前 : ー% (うち間接所有分 ー%)  
異動後 : 100.0% (うち間接所有分 100.0%)

(3) 当該異動の理由及びその年月日

① 異動の理由

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. (以下、「TBUSH社」という。)がWaferGen Bio-systems, Inc. (以下、「WaferGen社」という。)の株式を取得し子会社化することについて買収合意書を締結することを決議し、TBUSH社は、日本時間の同日にWaferGen社と同契約を締結いたしておりましたが、平成29年2月28日 (米国現地時間)にWaferGen社の株式取得に関する手続きが完了いたしました。

これにともない、WaferGen社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、同社は当社の特定子会社に該当することになりました。

今般、WaferGen社が当社グループに加わることで、同社独自のシングルセル解析システム等が得られます。また、本年1月に買収が完了したRubicon Genomics, Inc.の超微量DNA解析技術や当社が保有する超微量RNA解析技術などと組み合わせることで、今後、微量試料を出発材料とする種々の遺伝子解析分野での幅広い製品・サービスを提供することが可能となります。

② 異動の年月日

平成29年2月28日 (米国現地時間)

以 上